

三宅島の現状（その20）

平成13年12月10日
現地災害対策本部（三宅島）

【気象情報及び火山活動】

この2週間では大きな降雨はなく、泥流の発生はほとんどありませんでした。しかしながら、強い西風が吹いており、着岸港は三池港を使うことが多くなっています。火山ガスの流れる方向での乗下船となりますので、ガスマスクを装着する機会が増えています。

火山活動に大きな変化はありませんが、依然として、多量の火山ガスの放出が続いています。火山ガス（SO₂）の量は11月27日の観測では16,000～18,000トンでした。

【屋根応急修繕事前調査】

一時帰宅の後に強い要望のあった屋根の応急修繕に対応するための事前調査を実施しました。12月1、2日に職工組合が、5、6日には、都の建築職の職員と金属屋根の専門家が同じ家屋を対象に調査をしました。この調査結果に基づき、どのような方法で修繕するかを緊急に検討し、今週中には現地での作業に取りかかる予定です。

【（仮称）三七沢砂防ダムが完成】

勤労福祉会館や阿古ふるさと館に作業に従事している方々のクリーンハウスが整備され、防災機関も含め約340名が夜間滞在可能となり、復旧作業は着々と進んでいます。

12月中旬には、災害関連事業で実施中の砂防ダムの第一号として（仮称）三七沢砂防ダムが完成します。このダムは長さ約100メートル、高さ11.5メートルのコンクリートと鉄を使った複合構造の砂防ダムです。12月16日の取材後、映像等でご覧いただけます。

【報道機関の取材】

島民の一時帰宅や小泉首相の視察等で報道陣が入島した他は、平成13年4月末以来となる島の様子や復旧作業についての取材が久しぶりに実施されます。青山副知事をはじめ東京都や三宅村職員の案内で、12月16日（日）の早朝から正午までの間、火山活動の状況や道路、砂防等復旧作業状況の取材及び現地で作業に従事する島の方々へのインタビューなどが予定されています。当日及び翌日のテレビ、新聞報道にご注目ください。

【年末年始の態勢】

12月27日に、復旧作業に従事している方々は、はまゆう丸で東京に帰ります。そして来年1月8日まで、はまゆう丸はドックに入ります。この間の年末年始は、気象庁、東京消防庁、三宅島警察署、三宅支庁、三宅村役場の各機関の職員が交代で、お正月返上でクリーンハウスに宿泊し、火山活動観測の作業等に従事し、島を守っていきます。

【就労情報】

村役場では就労情報を提供し広報しておりますので、就労を希望される方は三宅村村民課相談係（代表03-5321-1111 内線45-640）にご相談ください。

なお、直近の情報は、ホームページ「三宅島を離れた村民のみなさまへ」をご覧ください。
(アドレス <http://www.miyakemura.com>)

問い合わせ先：三宅支庁総務課行政係 電話03-5320-7854

年末年始の三宅村各事務所の業務について

○ 年末年始の三宅村各事務所の業務時間はつぎのとおりです。

	平成13年 12月28日 (金)	平成13年 12月29日 (土)	平成14年 1月3日 (木)	平成14年 1月4日 (金)
新宿総合事務所	通常業務 (8:30~ 17:15)	休 業		通常業務 (8:30~ 17:15)
東京事務所				
立川事務所				

○ なお、休業中<12月29日(土)~1月3日(木)>の間の
緊急連絡先は、

東京都現地対策本部 (04994-2-1312)

となります。

※ 緊急な場合に限らせていただきます。

※ 東京都現地対策本部常駐の役場職員が、担当職員と連絡をとり、
対応いたします。

三 宅 村

● 平成 13 年度 上半期の状況

(単位:千円)

区 分	歳 入					歳 出				
	予 算 額			収入済額	執行率 (%)	予 算 額			支出済額	執行率 (%)
	当初予算額	補正予算額	計			当初予算額	補正予算額	計		
一 般 会 計	2,577,458	1,185,070	3,762,528	942,766	25.1	2,577,458	1,185,070	3,762,528	741,155	19.7
特 別 会 計	1,386,843	276,464	1,663,307	371,548	22.3	1,386,843	276,464	1,663,307	692,201	41.6
国民健康保険 (事業勘定)	442,343	65	442,408	81,276	18.4	442,343	65	442,408	177,543	40.1
国民健康保険 (直営診療施設勘定)	146,254	85,931	232,185	30	0.0	146,254	85,931	232,185	59,148	25.5
介護保険 (保険事業勘定)	282,255	15,879	298,134	132,293	44.4	282,255	15,879	298,134	162,362	54.5
介護保険 (介護サービス事業勘定)	6,454	0	6,454	78	1.2	6,454	0	6,454	3,176	49.2
簡易水道	66,326	2,386	68,712	571	0.8	66,326	2,386	68,712	29,833	43.4
老人保健医療	443,211	172,203	615,414	157,300	25.6	443,211	172,203	615,414	260,139	42.3
公営企業会計	120,162	21,670	141,832	32,459	22.9	162,151	15,330	177,481	56,723	32.0
農業共済事業	5,613	0	5,613	0	0.0	5,613	0	5,613	1,603	28.6
旅客自動車運送事業	114,439	1,260	115,699	32,434	28.0	118,804	1,260	120,064	54,886	45.7
建材事業	110	20,410	20,520	25	0.1	37,734	14,070	51,804	234	0.5
合 計	4,084,463	1,483,204	5,567,667	1,346,773	24.2	4,126,452	1,476,864	5,603,316	1,490,079	26.6

● 補正予算額の内容

◎ 一般会計	第1号補正(3月) 295,271 千円 第2号補正(5月) 293,672 千円 第3号補正(6月) 74,092 千円 第4号補正(6月) 108,565 千円 第5号補正(8月) 89,380 千円 第6号補正(9月) 324,090 千円 計 1,185,070 千円の追加をいたしました。
○ 主な内容は、災害復旧調査事業、夜間常駐体制の確立事業、泥流等被災家屋一時帰宅事業、全世帯対象一時帰宅事業、簡易水道施設復旧事業、公立公園清掃事業、中小企業既往債務利子補給事等です。	
○ 財源は、都支出金、繰入金を充当いたしました。	

◎ 国民健康保険(事業勘定)特別会計	第1号補正(9月) 65 千円の追加をいたしました。
○ 内容は、臨時用保険証の購入費等です。	
○ 財源は、国庫支出金を充当いたしました。	

◎ 簡易水道事業特別会計	第1号補正(9月) 2,386 千円の追加をいたしました。
○ 内容は、職員手当等、共済費です。	
○ 財源は、繰入金を充当いたしました。	

◎ 国民健康保険(直営診療施設勘定)特別会計	第1号補正(6月) △7,950 千円 第2号補正(6月) 89,407 千円 第3号補正(9月) 4,474 千円 計 85,931 千円の追加をいたしました。
○ 内容は、中央診療所脱炭化事業、三宅島ローテーション職員旅費等です。	
○ 財源は、繰入金を充当いたしました。	

◎ 老人保健医療特別会計	第1号補正(5月) 16,581 千円 第2号補正(9月) 155,622 千円 計 172,203 千円の追加をいたしました。
○ 内容は、医療費給付費、繰上充用金です。	
○ 財源は、国庫支出金、都支出金、繰越金を充当いたしました。	

◎ 介護保険(保険事業勘定)特別会計	第1号補正(9月) 15,879 千円の追加をいたしました。
○ 内容は、施設介護給付費、償還金です。	
○ 財源は、繰越金を充当いたしました。	

◎ 旅客自動車運送事業会計	第1号補正(9月) 1,260 千円の追加をいたしました。
○ 内容は、バス点検整備事業です。	
○ 財源は、事業収益を充当いたしました。	

◎ 建材事業会計	第1号補正(9月) 14,070 千円の追加をいたしました。
○ 内容は、建設車両整備事業です。	
○ 財源は、事業収益を充当いたしました。	

◎ 建材事業会計	第1号補正(9月) 14,070 千円の追加をいたしました。
○ 内容は、建設車両整備事業です。	
○ 財源は、事業収益を充当いたしました。	

三宅村財政のあらまし

平成 13 年 12 月 発行

「村の家計簿」は現在どんな状況になっているのでしょうか？

三宅村では年に2回、住民の皆様には財政状況の公表を行っています。

今回は、平成12年度の各会計の決算と平成13年度上半期(平成13年4月1日から9月30日まで)の予算執行の概要をお知らせいたします。



● 平成 12 年度 各会計決算の概要

区 分	歳 入				歳 出			
	決算額 (千円)	構成比 (%)	村民一人 当たり(円)	一世帯 当たり(円)	決算額 (千円)	構成比 (%)	村民一人 当たり(円)	一世帯 当たり(円)
一 般 会 計	3,426,972	66.3	942,511	1,822,857	3,245,619	63.6	892,634	1,726,393
特 別 会 計	1,570,852	30.4	432,024	835,556	1,559,247	30.5	428,832	829,383
国民健康保険 (事業勘定)	443,255	8.6	121,907	235,773	435,902	8.5	119,885	231,862
国民健康保険 (直営診療施設勘定)	246,576	4.8	67,815	131,157	246,548	4.8	67,807	131,142
介護保険 (保険事業勘定)	293,901	5.7	80,830	156,330	273,306	5.4	75,166	145,375
介護保険 (介護サービス事業勘定)	6,610	0.1	1,817	3,515	6,581	0.1	1,809	3,500
簡 易 水 道	115,310	2.2	31,713	61,335	115,133	2.3	31,664	61,240
老人保健医療	465,200	9.0	127,942	247,446	481,777	9.4	132,501	256,264
公 営 企 業 会 計	168,083	3.3	46,226	89,404	297,785	5.9	81,898	158,395
農 業 共 済 事 業	30,936	0.6	8,508	16,455	31,023	0.6	8,532	16,501
旅客自動車運送事業	81,975	1.6	22,545	43,603	120,509	2.4	33,143	64,100
建 材 事 業	55,172	1.1	15,173	29,346	146,253	2.9	40,223	77,794
合 計	5,165,907	100.0	1,420,761	2,747,817	5,102,651	100.0	1,403,364	2,714,171

※ 人口(3,636人)、世帯(1,880世帯)は、平成13年10月1日現在の住民基本台帳を用いました。

※ 「三宅村財政のあらまし」は、「地方自治法第243条の3第1項」及び「三宅村財政状況の公表に関する条例」の規定により発行しています。ご質問等がありましたら、下記までご照会下さい。

● 平成 12 年度 一般会計決算の概要

一般会計予算は、三宅村の全ての予算の約7割を占めています。主な事務事業はこの会計で行われています。
平成12年度の歳入歳出決算の内容は次の通りです。

◎ 歳 入

科 目	決算額(千円)	構成比(%)	村民一人当たり(円)	一世帯当たり(円)
村 税	313,701	9.1	86,277	166,862
地方譲与税	23,428	0.7	6,443	12,461
利子割交付金	13,997	0.4	3,849	7,445
地方消費税交付金	41,503	1.2	11,415	22,076
特別地方消費税交付金	0	0.0	0	0
自動車取得税交付金	26,327	0.8	7,240	14,003
地方特例交付金	13,924	0.4	3,829	7,406
地方交付税	1,900,115	55.4	522,584	1,010,699
交通安全対策特別交付金	1,475	0.1	405	784
分担金及び負担金	12,018	0.4	3,306	6,392
使用料及び手数料	31,207	0.9	8,582	16,599
国庫支出金	64,739	1.9	17,805	34,436
都 支 出 金	486,697	14.2	133,855	258,882
財 産 収 入	6,902	0.2	1,899	3,672
寄 附 金	0	0.0	0	0
繰 入 金	154,152	4.5	42,397	81,996
繰 越 金	48,627	1.4	13,374	25,866
諸 収 入	122,360	3.6	33,652	65,086
村 債	165,800	4.8	45,599	88,192
計	3,426,972	100.0	942,511	1,822,857

◎ 歳 出 (目的別)

科 目	決算額(千円)	構成比(%)	村民一人当たり(円)	一世帯当たり(円)
議 会 費	58,265	1.8	16,025	30,993
総 務 費	922,991	28.5	253,848	490,953
民 生 費	673,041	20.7	185,105	358,001
衛 生 費	252,679	7.8	69,494	134,404
労 働 費	0	0.0	0	0
農 林 水 産 業 費	132,419	4.1	36,419	70,436
商 工 費	110,345	3.4	30,348	58,694
土 木 費	87,272	2.7	24,003	46,421
消 防 費	129,503	4.0	35,617	68,884
教 育 費	276,662	8.5	76,089	147,160
災 害 復 旧 費	52,524	1.6	14,445	27,938
公 債 費	517,330	15.9	142,279	275,175
諸 支 出 金	32,588	1.0	8,962	17,334
計	3,245,619	100.0	892,634	1,726,393

◎ 歳 出 (性質別)

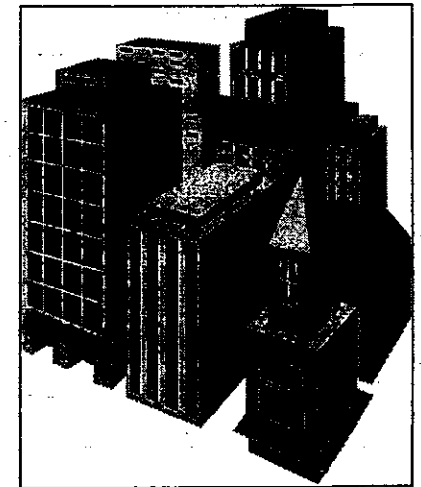
科 目	決算額(千円)	構成比(%)	村民一人当たり(円)	一世帯当たり(円)
人 件 費	632,756	19.5	174,026	336,573
物 件 費	620,083	19.1	170,540	329,832
維持補修費	10,005	0.3	2,752	5,322
扶 助 費	51,815	1.6	14,251	27,562
補 助 費 等	317,160	9.8	87,228	168,702
積 立 金	444,320	13.7	122,200	236,340
投資出資及び貸付金	44,400	1.4	12,211	23,617
繰 出 金	363,601	11.2	100,000	193,404
公 債 費	517,329	15.9	142,279	275,175
普通建設事業費	191,626	5.9	52,702	101,928
災害復旧事業費	52,524	1.6	14,445	27,938
計	3,245,619	100.0	892,634	1,726,393

● 平成12年度に実施した主な普通建設事業

(単位:千円)

目的別	事業名	事業費
総務費	防災行政無線施設整備	6,464
農林水産業費	定置網補修	49,000
土木費	伊豆海岸線改修	11,580
	大里線改修	9,345
	大里1号線改修	7,980
消防費	伊豆分団消防ポンプ自動車整備	14,332
教育費	三宅小学校大規模改造	51,072
	坪田中学校プール内壁塗装	5,355

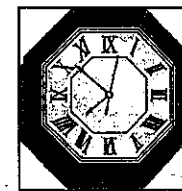
※ 事業費が、5,000千円以上のもの。



● 平成 12 年度末の地方債の状況

(単位:千円)

区 分	平成 11 年度末 現在高	平成 12 年度中増減額		平成 12 年度末 現在高
		発行額	償還額	
土 木 債	73,984		10,074	63,910
農 林 水 産 業 債	104,723		5,931	98,792
義 務 教 育 債	139,207	4,000	11,875	131,332
社 会 教 育 債	0		0	0
公 営 住 宅 債	364,993		24,174	340,819
衛 生 債	776,100		0	776,100
民 生 債	288,350	150,000	151,941	286,409
商 工 債	255,869		17,150	238,719
総 務 債	433,231		22,883	410,348
消 防 債	0		0	0
災 害 援 護 債	14,301		14,301	0
過 疎 債	1,036,884	6,200	131,908	911,176
財 源 対 策 債	90,035		1,127	88,908
臨 時 財 政 特 例 債	49,797		4,315	45,482
調 整 債	3,284		767	2,517
減 税 補 て ん 債	125,856	5,600	4,840	126,616
減 収 補 て ん 債	6,087		1,102	4,985
臨 時 税 収 補 て ん 債	28,600		0	28,600
災 害 復 旧 債	31,201		7,374	23,827
計	3,822,502	165,800	409,762	3,578,540



○西原地区 降灰厚は5cm程度で、開墾した新しい畑ではハウス内にも笹が繁茂していた。植付後2年目のレザーファンは、雑草に覆われて枯死していた。アシタバは生育しているが、手入れをしなければ出荷は不能である。果樹類では、ミカンが枝の先端が枯れ、ビワは葉持ちがよく、その他サトイモは小芋の付きがなく不良である。

IV. 阿古地区

○二富賀山地区 降灰は少ないものの、ハウス骨材は腐食が激しい。レザーファンは、茶色に変色し枯死していた。サトイモも殆どが生育不良で、小芋の付きも少ない。

○下鎗地区 降灰は少ないものの、阿古街中地区よりもハウス骨材の腐食が激しいように思われる。レザーファンは枯死していたが、ドラセナは欠株があるものの、現況では親株としての利用は可能な状況にある。

○山辺地区 降灰は少ないが火山ガスの影響が大きく、パイプハウスの腐食が著しい。防風林についてもタブの木・サンゴ樹等、ガスの影響が葉が殆ど落ちてしまっている。レザーファンは、根株共に完全に枯死している。

○薄木地区 降灰は少ないが、火山ガスの影響が大きい。パイプハウスの腐食程度も阿古地区内で最も大きく、防風林の被害も大きい。農作物についてはレザーファンは鉄骨ハウスでは多少株が残っているものの、パイプハウスでは完全に枯死しており、ガスの影響が圃場内に雑草もあまり見受けられない。しかし、ドラセナ及びストレチアは、多少の欠株や傷みが見受けられるものの生育が確認された。

(4) その他

I. 今回の調査においては限られた時間内での調査の為、全ての農地の調査を行うことはできなかったが、未調査地区においては近隣の調査済地区と読み替える。

II. 調査を踏まえた建議・要望等については、課題が多いので後日別途建議を行う。

III. 調査参加者

三宅村農業委員会	会 長	笹 本 準 治	
	職務代理	大 年 健 士	
	委 員	青 沼 宣 行	筑 波 光
		山 田 和 快	井 上 忠 義
		井 口 高 精	奥 山 彦 一
		佐 久 間 晃	西 野 直 樹
		佐 藤 敏 子	山 田 晴 稔
	事 務 局	芳 賀 雄 一 郎	前 田 誠

三宅村農業委員会農地調査報告書

三宅村農業委員会は、平成13年11月4日～11月8日にかけて三宅島の農地・農作物及び農業用施設の現況調査を実施し、次のとおり現地の確認を行った。その内容について、下記のとおり状況を報告します。

記

1. 調査日程	平成13年11月4日	東京竹芝棧橋発
	11月5日	三宅島調査
	11月6日	三宅島調査
	11月7日	三宅島調査神津島移動
	11月8日	東京竹芝棧橋帰京

2. 全体の状況

(1) 農作物の状況

I. 火山ガスによる影響

火山性ガスの影響によって、農作物に限らず防風林等にも枯死がある程度認められる。農作物ではレザーファン・タマシダ・茶等には、甚大な被害が認められ、アシタバ・サカキ・ルスカス・ドラセナ・シキミ・サトイモ・ストレチア等は多少の影響はあるものの、大きな被害が見受けられなかった。

II. 泥流・土砂による埋没

坪田地区の大長井・御子敷と神着地区の下馬野尾・焼場等に広範に泥流埋没の被害が発生しており、特にパイプハウスの埋没被害は甚大であった。

III. 灌水中断による干害

灌水中断による干ばつ被害は、当然の結果としてガラス温室やビニール被覆ハウス内に確認された。

IV. 全島避難による放置被害

畑主の不在で肥培管理の中断となった畑は、竹やススキ・ツユクサ・カヤツリ・藤ツル等が繁茂し、場所によっては人の立入りも困難を生じるほど荒れ果て、作物も弱っていた。

(2) 農業用施設等の状況

I. パイプハウスの腐食・発錆

パイプハウスの骨材は、場所によるばらつきがあるものの、全体的に赤錆が発生し強度が低下することにより、ビニール被覆が困難な状況になっている。又、被害程度のひどい場所ではパイプが完全に赤錆び、アーチの形をとどめていないものもあった。

II. 農業用水施設の被害

阿古笠地ダム及び神着ダムでは、噴石によるゴムシートの破損及び土石泥流が流入するなどの被害の他、水源取水域の破損が大きく、復旧には莫大な経費と期間を所要すると思われた。坪田農業用水については水源ポンプが未通電のため確認出来なかった。伊豆西原ダムは貯水量満水で健在であったが取水域の破損も考えられる。

III. 作業小屋・収納舎・農業用機械器具等の被害

作業小屋や収納舎は、屋根の腐食による雨漏り等のため、収納されていた資材が被害を受けている。また、同様に農業用機械・器具及び車両等にも甚大な被害を確認した

(3) 各地区別の被害状況

I. 坪田地区

○橋の平地区 降灰は少なく、火山ガスの影響は殆どないように見受けられる。

パイプハウスの被害は、島内で最も少ないように見受けられるものの、金具類等の赤錆被害のため、今後の活用は不能な状況にある。農作物は、島内全地区内で唯一火山ガス・火山灰の影響が少なく、レザーファン・サトイモ・アシタバ等野菜共に生育がよく、現状では今後の元株として十分活用可能と思われるような状況であったが、長期に人の手が入っていない事により雑草の繁茂が多少あった。

○大里地区 降灰は少ないものの、火山ガスの影響を受けている場所と受けていない場所が見受けられた。他地区と同様にパイプハウスには錆が発生し、帰島後の利用は見込めない状態である。レザーファンは、火山ガスの影響を受けている場所と受けていない場所の差が明確で、ハウス内及び露地に係らず、ガスの影響を受けている場所は葉先が茶色く変色していた。アシタバについては健全に生育しており、手をかければ出荷可能と思われるような状況にある。

○大長井地区 各所で泥流が発生し、何箇所かで1 m 前後の堆積が見られた。泥流の流入した圃場では、パイプハウスは完全に埋没・変形し、壊滅的な被害を受けていた。農作物についても、泥流の流入地では、完全に埋没し全滅していた。

○三池地区 大量の泥流が流入しているほか、火山ガスの影響が大きくレザーファンは完全に枯死し、パイプハウス・作業小屋等に腐食が大きい。パイプハウスは、アーチの形を保っていなかった。

○御子敷地区 火山灰が堆積し、一部多量の泥流の流入が見受けられた。露地のレザーファン・タマシダは、根株とも完全に枯死していた。サトイモは昨年の小芋から茎葉が出ていた。サカキは正常な繁茂が確認された。

II. 神着地区

○下馬野尾地区 パイプハウスは、噴火初期の降灰により湾曲するものが多く、錆び具合も強い。また、泥流が流入している畑もあり、ハウス・倉庫等が全壊し資材の再利用は不可能と思われる。泥流・火山灰の除去や、パイプハウス資材の撤去等、相当の復旧経費が必要と思われる。農作物では、レザーファン・茶は完全に枯死していた。しかし、ドラセナは根株のみは健在で、フェニックス・サカキは健在であった

○下根崎地区 火山灰が6 cm～10 cm堆積し、パイプハウスは降灰の重量で押しつぶされ倒壊していた。また、新しく開墾した畑では笹が繁茂していた。アシタバは、ある程度の成長が確認され大きな株は相当の種子をつけていた。サトイモは、小さいながらも昨年の小芋が発芽していた。ルスカスは、押し潰されたハウスの中でも生育をしていた。その他、サカキ・シキミは正常な繁茂が確認された。

○仲尾坂地区 平坦地では降灰の堆積が10 cm以上あるが、傾斜地では火山灰が流失し畑の植生が回復している場所もあった。また、1年以上畑に手が入っていないので、笹が繁茂している畑もあった。農作物についてはアシタバの生育が良好のように見受けられるが出荷は不能、茶は完全に枯死しており、茶畑の様相を呈していない。サトイモは現時点では多少種芋として利用可能と思われるようなものが存在した。サカキも正常な繁茂が見受けられた。

○門の原地区 降灰厚は、6 cm～10 cm程度であった。育苗床にあったアシタバは、全て枯死し全滅であった。茶樹の状況は、畑の半分以上が枯死していた。

III. 伊豆地区

○木和田地区 火山灰の降灰厚は7 cm～8 cm程度であった。火山ガスの影響と思われるが、パイプハウス骨材の腐食が激しい。農作物はレザーファンは完全に枯死、茶についても殆どが枯死していた。しかし、サトイモは他作物に比較して良好で、種芋として使用可能なものが多く見受けられた。

○大泉地区 降灰厚は少ないが設置後1年目にも係らず、パイプハウス骨材に錆びが生じていた。また、ハウス内に笹やツル植物の繁茂が著しく畑の取付道も通行が難しい畑も見受けられた。ハウス内レザーファンは、ビニールの掛っているハウスでは多少見受けられるものの、カンレイシャのみのハウスでは殆どが枯死し、雑草が繁茂していた。

○塩来地地区 降灰は少ないものの、ハウス骨材は湾曲し錆びも進行して修復不能な状況にあった。また、笹の繁茂が激しく畑に入るのが難しい畑もあった。レザーファンは枯死していたが、ユリの球根は健在であった。その他、鉢物は一部を残して枯死していた。

三宅村「ゆめ農園」で働いていただく方の募集

村民の皆さまに、江東区夢の島で島特有の花木・緑化木種苗、観葉植物等の苗を生産し、帰島後の復興の一助とするため、三宅村「ゆめ農園」で働く方を下記のとおり募集いたします。

記

1 応募資格

現在避難されている三宅島民の方で、勤務地まで通勤可能で農園作業の出来る健康な方。

2 募集期間

①募集期間 平成13年12月15日(木)から同31日(月)まで

②採用通知 1月上旬(採用・不採用にかかわらず郵便等により連絡)

3 勤務地

江東区夢の島3番30(旧江東清掃工場敷地内)外

最寄駅 地下鉄有楽町線・JR京葉線・りんかい線 新木場駅より徒歩15分

4 勤務条件

①勤務内容 花木・緑化木種苗、観葉植物等の苗の栽培(軽作業)

②勤務期間 平成14年1月15日から平成14年3月31日まで

(なお、平成14年4月1日以降実施予定の本農園事業においても今回の採用者を中心として、雇用する予定です。)

③勤務日数 月12日程度(9:00~17:00)

④賃金 6,280円/日・税込み(交通費は実費支給)

⑤募集人員 30名程度(応募者多数の場合は抽選といたします。)

⑥その他 応募者の中から、ご本人の承諾のもとに、別途勤務条件にて作業班長を4名程度選任いたします。

5 問い合わせ先

三宅村新宿総合事務所 (代表) 03-5321-1111

産業観光課 (直通) 03-5320-7829 (内線) 45-660~45-661

村民課 (直通) 03-5320-7830 (内線) 45-640~45-642

6 応募方法

必ず官製はがきにて、①現住所、②三宅村住所、③氏名、④年齢、⑤性別、⑥電話番号、を記入のうえ、下記住所に応募してください。

(12月31日当日消印有効)

〒163-8001 新宿区西新宿2-8-1 三宅村新宿総合事務所内

三宅村森林組合 「ゆめ農園」 係

『げんき農場だより』後期の編集世話人が決まりました

場員の中から「げんき農場だより」を編集していく世話人として次の方々が決まりました。一言とあわせてご紹介します。

- 1班: 金 庚順さん
「皆さんが優しくしてくれているので、毎日楽しく仕事をしています」
- 2班: 坂田 定行さん
「班の皆さんのご協力に感謝します」
- 3班: 小山 いくよさん
「作物に 島の香(か)想う げんき農場」
- 4班: 青山 タカ子さん
「皆さんに愛される『農場だより』を作っていきたいと思います」
- 5班: 村上 規一さん
「農場の皆さんの声を、農場だよりを通して島の皆さんに伝えたい」



「交流の森」も落ち葉で埋まり、げんき農場は初めての冬を迎えます

9月からの来場者紹介 次の方々が遠路のところ当農場を訪ねてくださいました。

【見学等】

- ・立正大学文学部学生 栗原みどりさん 外1名
池田召子さん 外3名
- ・現阿古駐在所(警察官) 西島孝さん
- ・瀧島さん 外1名
- ・奥住さん(三宅児童・生徒支援センター)
- ・三宅村議会議員 浅沼功一郎氏、高松啓展氏、谷寿文氏
浅沼徳広氏、大石徹氏
- ・三宅高等学校 生徒・教諭外7名
- ・神奈川県立中央農業高等学校 生徒8名・教諭2名
- ・持丸敬己さん(三宅島出身・埼玉県戸田市在住)
- ・北多摩経済事務所 西田農務課長 外1名

【取材】

- ・NHK(首都圏放送センター)
- ・しんぶん赤旗
- ・朝日英字新聞
- ・読売新聞
- ・季刊JA八王子だより
- ・隔月刊・武蔵野から
- ・月刊・自然と食品
- ・日本農業新聞

(順不同)

三宅島「げんき農場」だより バックナンバーについて

三宅島「げんき農場」だよりのバックナンバーは、三宅島のホームページ「村民の広場」の「げんき農場情報」でもご覧になることができます。こちらでは掲載写真がカラーでご覧いただけますので、インターネットをご利用できる方は是非ご覧下さい。

「村民の広場」アドレス → http://www.miyakejima.gr.jp/info_miyake/

三宅島「げんき農場」だより

発行元 三宅島「げんき農場」
所在地 八王子市宇津木236-1
Tel&Fax: 0426-27-4355
e-mail: genki-farm@nifty.com

都議会議員が「げんき農場」を視察

12月7日、都議会議員(公明党)曾雌久義、藤井一、東村邦浩の皆さん及び村議会議員浅沼功一郎さんが来場されました。

ご一行は午前10時20分頃、農場に到着。農場管理棟前の広場で約40分間、場員と懇談しました。初めに曾雌議員から都議会での取り組みについて話があり、場員からは就労期間の延長や生活に関わる諸問題など幾つかの要望事項が出されました。これに対して各議員の皆さんからは激励を兼ねた親切なご回答を頂きました。

場員は初冬の陽だまりの中で寒さを忘れて熱心に聞き入っていました。



収穫に感謝して

三宅島げんき農場では稔りの秋を迎え、生産された三宅特産のサトイモ・アシタバ・サツマイモなどに感謝する収穫感謝祭を開きました。当日は、4月から9月までの6ヶ月間頑張ってくれた前期の場員の皆さんをお呼びして、今までの苦労と収穫の喜びを語り合う楽しい会でした。

正午、げんき農場管理棟前で前期の皆さんを拍手でお迎えし、作業着に身支度してもらったあと畑に出て、サトイモの収穫作業をしてもらいました。ひと畝ごと、芋の株を掘り起こすたびに畑のあちこちから「大きい芋だ」「大きいぞ」と言う大きな歓声が湧き上がっていました。

雨の日にはズブ濡れになって除草したこと、真夏の暑い炎天下で玉の様な汗を流しながら灌水したことなどこの収穫までの苦労を思い出していた



ことでしょう。

続いて、青々と腰高ほどに育ったアシタバ畑に行き、一本一本心を込めて丁寧に収穫していました。

収穫作業を無事に終えたあと、前・後期の場員の皆さんが一堂に会して、お互いの苦労話や収穫の喜びを語り合うなど、意見の交換をした有意義な一日でした。

-- 収穫感謝祭に来て頂いた前期の方からお礼状を頂きました --

三宅島げんき農場を去って早や2ヶ月が過ぎました。久し振りに見るげんき農場や附近の風景も一変しており季節の移り変わりの早さを実感させられました。

先日は「一期の会」(*)会員を収穫祭にお招き頂き心から感謝申し上げます。また後期の方々の元気な姿に接し大変心強く感じました。

当日は、想像はしておりましたが、各人があたかも自分の農場に足を踏み入れるような感動的な場面を目にして、あれほどまでげんき農場に深い愛着があったのかと改めて感じさせられました。やはりその根底にあるものは労を惜みず汗を流した結果があのような立派な実を結んだことに対する充実感の現れだったのでしょうか。

そして、この事業が高齢者の就労問題解消の為にいかに画期的かつ実効性があるかということも感じました。聞くところによると、収穫物はこれまで各種イベントに活用され、また三宅島の子供達にも収穫の喜びを味わってもらったと言うことで、げんき農場の存在が大いに理解されたことと思います。これからも周辺の児童・生徒の学習の場としても価値あるものになれば、地元との相互理解もますます深まるものになるものと期待しております。

これから先、大変厳しい時期に入りますが、場員の皆様の増々の御健勝と御活躍を心よりお礼申し上げます。

築穴 辰雄
(前期3班班長: 武蔵村山市在住)

(*)「一期の会」: 今年4月から9月まで就労した前期の場員で組織した会

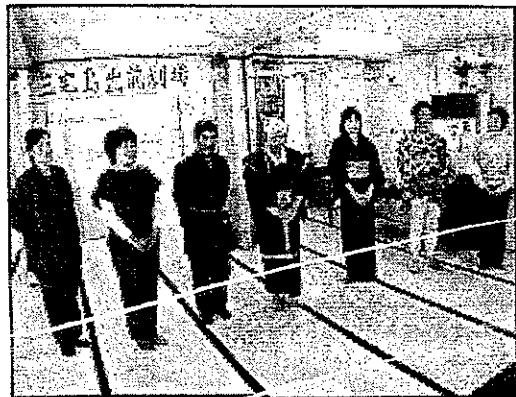
「三宅島出前劇場」来たる!

11月30日昼休み、げんき農場で劇団天草“(てんぐざ)の公演がありました。

「尻玉おとき」と言う演題で、昔むかし阿古村の親孝行の息子のところに坪田村から嫁いで来た嫁っこが色々なおどけた物議を巻き起こし、観客を笑わせたりハラハラさせたりしたが、最後はめでたしめでたしと言う劇でした。30分ほどの短い時間でしたが、場員一同楽しい昼休みを過ごさせて頂きました。

公演の後、座長の山本照子さんから次のようなコメントを頂きました。

『劇を見てくださった場員の皆さんが大きい声で笑い、拍手するなど機微な反応が直接演技者に伝わってきて、やりがいがあったと団員が大変喜んでいました。今日は沢山の島の方々と一緒に楽しいひと時を過ごさせて頂き感謝しています。今後も三宅の地名と方言を使った出し物を作り、活動を続けていきたいと思っています。このげんき農場があることで、三宅島から避難されてきた皆さんの心の張りになるのではないのでしょうか。』



げんき農場だより

場員の声

「新しい出会い」



彦坂 征尾
(武蔵村山市在住: 阿古)

避難生活も1年4ヶ月が過ぎようとしています。

島の人達がしていたように私も赤芽芋を作り、兄弟姉妹、子供、親せき、友人、知人等に毎年送り続けてきました。

げんき農場へ来たひとつの理由は、この農場で島の赤芽芋を栽培しているというのを聞き、島以外の土地ではどのように成長するか、味はどうだろうかなど興味があり、また栽培方法についても一から勉強したいと思ったからです。

荒地の開墾、夏の干ばつの水やり等、前期の人達の苦労話を聞いていたのですが、見事に成長している畑を見て、「さすがプロは凄い仕事をするな」の一言です。前期の人達の苦労に報いるため1個でも無駄にしないよう、農場の先生達の指導のもと、貯蔵作業も丁寧にしたいと考えています。島へ帰り、島の里芋の味を再び親戚等に送ることが出来る日が1日も早く来ることを願いながら、仕事に頑張っています。

こちらへ来てから、友人、知人等と離れ離れになり、寂しい日々をすごしてきましたが、各種イベント、仕事等を通じて新しい友人が出来、この「出会い」が今私の一番の心の支えになっています。明日もまた新しい出会いを求めてげんき農場へ行きます。

「三宅の皆さんお元気ですか」

月日の経つのは早いもので島から避難してから一年が過ぎ、2度目のお正月を迎えようとしています。三宅の皆さんお元気ですか。げんき農場で働いている皆さんもとても元気です。

先日の「収穫を感謝する会」では沢山のことに感謝しつつ、前期の方々とお話をしました。再会を喜び合い島の言葉で話すと、さながら小さな三宅島が移ってきたように感じました。去年の雄山の噴火で突然プツンと断ち切られてしまった島での楽しい日々も、このげんき農場で再び取り戻そうと思って働いています。

今から本格的な寒さに向かいますが、三宅島の皆さんもどうぞ健康にお気をつけて下さいね。そして来年こそ帰島できることを祈りながら、お元気で新年を迎えましょう。



浅沼 妙子
(八王子市別所在住: 神着)

小笠原みどり (東大和市在住: 坪田)

・肥沃なる 大地に育ちし 分葱よ
定植後も伸びよ 霜に負けず

・一年の希望託して汗ながす
三宅の農は確保されつつ

・汗流る 間惜しんで 掘り起こす
さつまの紅の鮮やかにして

・ふしくれし 十指に白い息かけて

・八王子の土壤に 育てられし あしたばの
新芽が出揃い 萌えたつ 如くに

・子等の声 ひよどり山に果てしなく

・早よ土壤に 慣れて育てよ 赤芽いも
三宅で子孫残すを夢見て

・霜知らぬ 三宅の人達 今いかに



1. 合併後の状況

(1) 職員の配置

- | | | |
|---------------|--------|-------|
| イ) 島しょ農協本店に出向 | 石井 幸枝 | 杉本 亜星 |
| ロ) 共済連に出向 | 小池 美知子 | |
| ハ) 全農ガス部門 | 前田 正一 | |
| ニ) 農林振興財団 | 平野 和子 | (計5名) |

その他の職員は依頼退職し、各方面で頑張っております。

(2) 役員配置

- イ) 島しょ農協(理事) 奥山 彦一、沖山 勝郎
(監事) 岡野 光男
(故) 福西 一 氏 8月19日御逝去
- ロ) 三宅支店運営委員会
(理事、監事、全員による構成)
奥山 彦一、沖山 勝郎、田村 安太郎、浅沼 安之、西山 税
岡野 光男(欠員2名)

(3) 三宅島げんき農場現場管理推進

国の緊急地域雇用特別基金事業により、東京都が開設した「げんき農場」の運営について、10月1日から後期の人達を迎え、秋の収穫作業で毎日頑張っております。

(4) 農協の電話番号

- ① 三宅島支店(石井、杉本)
JA東京：南新宿ビル4F TEL：03-3320-0323
三宅島支店運営委員会 理事 TEL：090-4928-2008

2. 最近の情勢

(1) 島内のプロパンガスの供給

災害復旧工事に従事する人達の宿泊施設等へのプロパンガスの供給は、順調に行われています。

災害復旧事業等、行政関係者の三宅島に滞在し各種事業に携わる人達の宿泊施設が増設された結果、その利用人数も急速に増え、これら施設で消費されるプロパンガスも相当の供給量が必要となっております。

(2) 災害見舞金の取り扱いについて

避難生活も長期化し組合員各位にはご苦勞の多い毎日かとお察し申し上げます。

さて、三宅島、神津島、新島等の地震噴火災害に対し、全国の農協関係の方々から「JA東京島しょ災害対策本部」を通じ貴重なお見舞いを頂いておりますが、この義援金の取り扱いについて島民の方から照会がありました。

この見舞金は三宅島だけでなく、他島も含めて寄せられたものであり、三宅島の噴火災害が終息し、資産その他の被害額が確定するまでは各島に分配せず、凍結保管されております。

11月下旬、現地調査に同行し、旧本店、坪田店、集荷場等を見ましたが、全島の被害状況から相当の資産被害(建物、IT機器、電気機器、加工機械類)が見込まれる状況で、未曾有の危機的段階に至っております。

避難が長期化するほど、この時こそ全国からの心温かい支援に応える為にお互いが信頼し合い結束し、災害を乗り越えることに全力を傾注したいと念願しております。

ご理解とご協力をお願いいたします。

平成13年11月30日

JA東京島しょ 理事(旧三宅島農協組合長)
奥山 彦一

右の電話番号枠を切り抜いて、島民電話帳の裏表紙に貼ってご利用ください。

農協三宅島支店窓口

でんわ 03-3320-0323
FAX 03-3375-6586
〒151-0053 渋谷区代々木
2-10-12南新宿ビル4F

三宅島げんき農場

でんわ 0426-27-4355
FAX 同上
〒192-0024 八王子市宇津木町
236-1

三宅島漁協だより

H 1 3 . 1 2 . 1 5

○ 東京都漁連鮮魚市開催のお知らせ

今月も22日(土)23日(日)の2日間、都漁連水産物物流センターに於いて 海の幸、鮮魚市が開催されます。

皆様、お誘い合わせのうえ、ご来店下さいますようお願いいたします。

詳しくは別紙チラシをご覧ください。

○ 年末年始の業務取扱いについてのお知らせ

平成13年12月29日～平成14年1月6日まで 正月休み休業

但し、平成14年1月4日(金) 信漁連、貯金業務のみ営業

平成14年1月7日(月)より平常業務

〒108-0075

東京都港区港南4-7-8 東京都漁連内

三宅島漁業協同組合東京臨時事務所

電話 03-5783-2181

FAX 03-5783-2182

平成13年12月10日発行

シルバーみやげ ミニ・ニュース



編集・発行
社団法人三宅村シルバー人材センター
東京都千代田区飯田橋3-10-3
シニアワーク東京 2階
Tel; 03-3239-4343
Fax; 03-3512-3477



仲よく・楽しく働こう!



街角を彩る華やかなクリスマスツリーが、2001年の終りを告げています。もうすぐ避難して2回目のお正月。これまでに、180数名の新しい会員が入会しました。

入会の理由は「外に出て体を動かしたり、みんなと話したい」、「少しでも生活の足しにしたい」、「会員になるだけで安心する」と様々です。

入会手続きはできるだけ簡略化して、電話で受け付けることにしていますが、電話ではシルバーの基本理念や公益的性格などを詳しく説明できないというのが実情です。

避難の長期化がささやかれている中で、仕事を頂いた発注者から感謝され、お世話になっている地域に貢献していくために、会員一人ひとりに求められているのが、シルバー人材センターの基本理念「共働・共助、自主・自立」の精神です。

新しく入会した会員の皆さんにとってははじめての言葉、ベテランの会員さんの中には忘れていた方がいるかもしれません。ここで、もう一度おさらいしておきます。

○共働 - 共助

シルバー人材センターは、地域社会から出される仕事を受け、会員が相互に協力し、就業活動を通じて共に働き、共に助け合いながら、仲よく楽しく働くことを基本理念としています。

シルバーで仲よく楽しく働いて得た報酬は、一般の雇用労働で得たそれとは区別して「配分金」と呼び、「賃金」とか「日当」とは云いません。

仲間同士のいさかみやもめごとが起きないようにお互いに気を配りましょう。

営などを会員が相互に協力し、助け合いながら自分たちで推進していくべきだという意味です。

良い仕事は、グループの皆さんの心が一つになってはじめて完成するものです。

『シニア@毎日』にアクセス!!

当センターの情報満載

アドレス

<http://www.mainichi.co.jp//senior/>

毎日新聞の熟年向けホームページ「シニア@毎日」で、避難してからの当センターの活動状況、この10月に就業をはじめた都立産業技術研究所で元気に働く会員の様子などをインタビューをまじえて紹介しています。

皆さんも立川支所の講習会や三宅村のパソコン教室で、腕を磨かれたことでしょうか。初めての人も挑戦してみてください。

きっとパソコンの楽しい世界が広がるはずですよ。

○自主 - 自立

自立性とは、財政的に行政の援助を受けずに、自分たちの力で運営するというものではありません。シルバーが地域社会の高齢者の就業分野として地域社会を支え、活力あるものにすることを前提として行政から援助があるのです。

自立性の真の意味は、就業に際し、仕事場までの送り迎えや仕事の段取りなどは会員自身が行うべきであり、就業の条件や環境、就業のグループ化、事業の運

平成13年12月10日発行

島では、冬といえば「西風」というのが合言葉。東京はどうやら北風が多いようです。しんと冷え込む都会の寒さ・冷たさは、島育ちの私たちにとってはことさらに厳しさを感じます。都会では人混みを避けることはできないし、精神的・肉体的疲労も島にいたときとは比べものになりません。これからかぜの流行の季節がやってきますが、今回は東京都島しょ保健所三宅出張所の小杉保健婦さんに、かぜの予防について伺いました。ちょっとした心づかいがかぜを防ぎます。

★適度な運動

健康を維持・促進するために欠かせないのが、身体を動かすことです。無理のない運動をすることで肥満・ストレス解消、体力の強化や老化防止、生活習慣病の予防ができます。いつも暖かい部屋ばかりにいて寒さを感じない生活をしていると、体温調節の仕組みがくずれて、かぜをひきやすくなります。

(2) 窓際は温度差が大きいので、寝る場所は、できるだけ窓際から離れる。

(3) 厚めのカーテンは、室内の保温に効果がある。また、すきま風を防ぎ、温度差の影響を受けないようにする。

寒さに負けないくふう

★手洗いの励行

- (1) 外出から帰ったら、こまめに石鹸で手を洗い、うがいをする。
- (2) かぜの流行時には、人混みをさける。

★規則正しい食事

- (1) バランスのとれた三度の食事を規則正しくとる。
- (2) 寒さに負けない（体温を上げる）ためには、朝ご飯をしっかりと食べることが大切です。

★快適な生活環境

- (1) 部屋の乾燥を防ぎ、時々換気をする。



話がはづむ屋食 都立大で

★十分な睡眠

- (1) 十分な睡眠をとること。うたた寝は、かぜの近道です。
- (2) 精神的・肉体的疲労は、かぜを呼びます。疲労を翌日に持ち越さない。

シルバーフェア

写真展盛況

11月27日、アミュー立川で『シルバーフェア・多摩2001』が開催され、当センターの写真展会場は大賑いでした。会場には、緑豊かな噴火前の情景、会員の就業の様子、災害復旧作業などの写真約80点が展示されました。

来場者は400人に上り、盛会の内に終了。経験交流大会では、金井事務局長が、この1年の活動状況を報告し、これまでの都内各シルバーのご支援とご協力に対し、お礼を述べました。

平成13年10月分事業実績 (単位:円)

月	区分	受託 件数	就業延 日人員	契 約 金 額			
				配分金	材料費	事務費	計
10	公共	6	752	4,454,510	0	10,500	4,465,010
	民間	3	327	2,033,720	0	26,580	2,060,300
	計	9	1,079	6,488,230	0	37,080	6,525,310
累計	公共	13	1,301	6,786,390	67,900	73,050	6,927,340
	民間	44	1,471	9,110,814	0	98,744	9,209,558
	合計	57	2,772	15,897,204	67,900	171,794	16,136,898

三宅村民のみなさんへ 小金井市の委託事業をお手伝いいただけませんか

小金井市マザーズガーデン整理作業員募集



募集人数	男子10名（資格不問）
作業内容	マザーズガーデンの樹木（コニファー類）の移植作業の補助
賃 金	1日 12,000円 （税・交通費込み）
勤務時間	9時～17時 （雨天・積雪の場合中止）
勤務場所	小金井市貫井南町四丁目 2番24号 その他1か所（市内）

勤務日程

1月	15日（火）	16日（水）	17日（木）	21日（月）	22日（火）
	23日（水）	28日（月）	29日（火）	30日（水）	
2月	4日（月）	5日（火）	6日（水）	12日（火）	13日（水）
	18日（月）	19日（火）	20日（水）	25日（月）	26日（火）
	27日（水）				

問合せ先 JA東京むさし小金井経済センター (042) 385-3281
 (担当) 渡辺、橋本

小金井市活性化資源調査（市の地域紹介誌づくり）調査員募集

募集人数	8名（年齢・性別不問、女性・中高年向きの簡単な仕事）		
調査期間	平成13年12月中旬～平成14年1月25日まで 原則として、月曜日～金曜日（土、日曜日に振替えも可能）		
勤務時間	勤務日を含めて相談に応じます。		
賃 金	時給1,000円（交通費を含む）		
仕事内容	調査員2人1組で、小金井市内の商店名、電話番号、商品等について調査する仕事です。（調査の前に説明をいたします。）		
調査場所	小金井市内全域		
問合せ先	小金井市経済課産業振興係 (042) 387-9831	内田、高橋	
	(株)地域計画建築研究所 (03) 3226-9130	桃園(ももぞの)	